

④

日榮丸機密第三號ノ八

自昭和十九年九月一日
至昭和十九年九月三十日

特設運送船
(給油船)

日榮丸
戰時日誌



目

- 一、経 過
- 二、人員ノ現 状
- 三、令達報告等
- 四、参 考
- (一) 意 見
- (二) 燃料補給一覽表

次

- 五、作戦経過概要
- 別紙一 機 関
- 別紙二 醫 務 衛 生
- 別紙三 會 計 経 理

一、經過

自昭和十九年九月一日
至昭和十九年九月三十日

1. 任務

燃料軍需品の輸送並ニ補給

2. 行動

聯合艦隊附屬
GF電令第三七八號
聯合艦隊電令第四一四號ニ依ル行動

九月二日 一四三五 吳第四船渠出渠

九月六日 〇七〇二 吳發
〇八四〇 高南砲公試射

九月八日 一七二五 部崎灯台假泊
一一〇五 同發

九月九日 一九一七 伊万里灣假泊

九月九日 〇五四五 同發

九月三日 一三五八 高雄北防波堤灯台假泊
一四一〇 三宅横付補給ス

九月二四日 一六四五 高雄發

九月二日 一五四 昭南着

一七四 便乗者六名退船託送品陸揚

九月三日 一八〇 水船横付真水搭載糧食搭載

九月四日 一七三 昭南發

九月五日 一八五 パレムバン沖着

一八四 昭星丸横付重油移載

一八四 蓮丸横付重油移載

九月六日 一八八 雄鳳丸横付重油移載

九月七日 一九五 パレンバン沖發

九月八日 一〇三 昭南西錨地着

九月九日 九一〇 水船横付清水搭載

一一二五 右終了

一五〇 糧食品搭載

(終)

二人員ノ現状

(一) 准士官以上官職氏名

職	主	務	官	氏名	記事
指揮官	一	般	大佐	岡野一幹	
乗組	軍醫長		醫大尉	蝦名秀敏	
"	主計長兼分隊長職務執行		主中尉	森元惟雄	九月二十九日昭南於退船
"	指揮官附兼第一分隊士		兵曹長	森山年生	九月二十九日昭南於退船
"	指揮官附兼第一分隊士		兵曹長	藤本一衛	九月二十九日昭南於退船
"	第一分隊士兼掌砲長		兵曹長	藤井正雄	
"	補給主任兼第二分隊士		機曹長	加藤城昌	

(二) 下士官兵員數

兵種別	水兵科	機関科	衛生科	主計科	合計	記事
下士官	二六	一二	一	二	四一	

計	兵士	一八七	一	三	一〇一
		一一三	二	五	一四二
		三	一		
		二			

(三) 軍屬(船員) 部内限 奏待

職	氏名	兵級	記事	職	氏名	兵級	記事
船長	大下増美			機関長	板垣覺寶	機中	九月三日
一運	岩崎彦次郎			一機	岡村巳代治	機中	九月三日
機関長	野田大	機大	九月三日	局長	進藤僚	機中	九月三日
		機大	九月三日			機中	九月三日

(四) 軍屬(船員) 奏待以外ノ員数

種別	甲板部	機関部	無線部	賄部	合計	記事
部内限 判待	三	六	三		一二	
雇員 傭人	一五	二〇		七	四二	
計	一八	二六	三	七	五四	

(五) 軍屬二名 九月一日退船

三、令達報告等

發日 元時	受日 宛(通報)時	令達報告等	種別
九月一日 門司武官	日榮丸 海防六 海防一六 警 佐領 P IKEP	門司武官機密第〇二五二六番電 貴機密第〇一〇九五〇番電ニ関聯 當地ニハ吳軍需部出張所アリ日榮丸良榮丸入港補給差支ナシ	電
九月二日 日榮丸	良榮雄邦 夕月卯月 満珠	門司發、船團ハ八日發、事ニ成リタリ本船六日一五三〇吳發途中公試射撃七日〇七〇〇門司着、豫定ニ變更セリ	旗手
九月二日 日榮丸 指揮官	門司武官府 大海參一部長 P 吳鎮 KDB P 吳工廠 31S P GF P IKEP	日榮丸機密第〇二一四三〇番電 一番機銃位置變更、外豫定工事三日完了 二日出渠六日一五三〇吳發兜島ニテ十二輝高角砲公試發射七百〇七〇〇門司着八日門司發、船團ニ加入、豫定	電
			信
			1455
			1510
			2230
			別種 詳記了

九月一日 于珠	九月九日 秋津洲	九月八日 于珠	九月六日 日榮丸 指揮官	九月六日 日榮丸 指揮官
全般	全般	各艦船	門司武官府 GF KDB	東通 GF KDB
針筭、混乱ヲ避ケル所要ナル要素ナルヲ以テ 各船ハ極力船位保持ニ努力セヨ	隊形、整兵、船團内ノ連絡ヲ密ニシ敵襲時變ム 一七五〇・二二〇度五〇〇〇米ニ潜望鏡ヲ認ム	信令第三號 今夜警戒碇泊トナセ	日榮丸機密第〇六八四五番電 部崎沖ニ假泊ス	日榮丸機密第〇六二二〇五番電 本船ハ東京第一放送ヲ待受セザルニ付キ行動 其他本船ニ関スル重要電報ハ東京第二放 送ニテ送ラレ度
旗手 1740	旗手 1805	旗手 1930	旗手 1020	電

<p>九月三日 第一護衛船團 司令部・神鷹</p>	<p>九月二日 雄鳳丸</p>	<p>九月一日 日榮丸</p>	<p>九月一日 第一海上護衛隊</p>	<p>九月一日 千珠</p>
<p>全般</p>	<p>AOL</p>	<p>千珠</p>	<p>夕日榮丸 良榮丸 良榮丸 良榮丸</p>	<p>日榮丸 良榮丸 夕日榮丸 全般</p>
<p>船團出港ヲ明一四日ニ期シテ出港時刻ハ追テ令セラルルニシテ</p> <p>聯合艦隊電令第四四號</p>	<p>四分團トス</p> <p>日榮丸新加入船(黒潮丸富士丸大邦丸)ヲ第一側列第一第二分團新右例列第三第四分團</p>	<p>第二警戒航行隊形ヲ左ノ通り定ム</p> <p>海上護衛隊一〇二〇五ニ番電ニヨリ船團ニ復歸ス</p>	<p>機密電令一〇二〇五ニ番電</p> <p>ヒ七五船團ハ日榮丸良榮丸卯月夕月返轉ヲ取止メ豫定通り前船團高雄向ケ續行セラレ度</p>	<p>日榮丸良榮丸夕月卯月ハ直ニ列ヲ解キ日榮丸指揮官是ヲ指揮シ吳ニ引返スベシ</p> <p>船團部隊ハ更ニ豫定通り行動ス</p>
<p>旗手</p>	<p>號</p>	<p>信</p>	<p>光發</p>	<p>發號</p>
<p>1830</p>	<p>1200</p>	<p>0730</p>	<p>0250</p>	<p>0010</p>

<p>九月三日 日榮丸 指揮官</p>	<p>九月二日 日榮丸</p>	<p>九月二日 日榮丸</p>	<p>九月一日 神鷹</p>
<p>昭南在勤武官上研 昭南在勤武官上研 昭南在勤武官上研</p>	<p>昭南 運輸部</p>	<p>雄鳳丸</p>	<p>良榮丸</p>
<p>日榮丸機密第三三四三番電 二十四日。七。〇。パレムバン河口ニ向ケ昭南發</p>	<p>搭載後三日間主機械ノ開放手入ス</p>	<p>日程ヲ定ムルニ際シ御配慮アリ度シ</p>	<p>昭南ニテ重油満載ヒ七六船團ニ加入シ馬公ニ廻航搭載重油全部ヲ陸揚ガスベシ</p>
<p>信電</p>	<p>旗</p>	<p>手號</p>	<p>信光</p>
	<p>1510</p>	<p>0925</p>	<p>1755 1842</p>

<p>九月五日 IKE 西方面司令</p>	<p>九月三日 日榮丸 指揮官</p>	<p>日榮丸機密第二三二四〇番電</p>
<p>日榮丸</p>	<p>F GF 参謀長</p>	<p>日榮丸機密第二三二四〇番電 日榮丸良榮丸ハバラムバン河口ニテ雄鳳萬 榮ハバラムバンヨリ輸送シ來ルモノヲ二回移載 シ雄鳳萬榮ハ三度溯江シテ搭載シ來リ 昭南ニテ船團加入ノコトニ協定セラル從ツテ 馬公着ハ甚シク遲延ス艦隊ニテ特ニ要求 アラバ貴部ヨリ交渉アリ度</p>
<p>日榮丸機密第二六一三〇番電 良榮ハ揚荷完了</p>	<p>KE機密第二五五三八番電 船團ハ兩船ノ入港後速カニ發進ノ遂行ニ付 當地ニテ是非補給ヲ要スルモノ知ラサレ度 水ハ出來得ル限リ雄鳳丸等ヨリ補充ヲ望ム良 榮丸ハ更ニ當地ニテ揚荷六時間ヲ要スル由歸 着ノ順序考慮シテ當地着日時見込付次第 急報相成度</p>	<p>電</p>
<p>信</p>	<p>2125</p>	<p></p>

<p>九月二十六日 IKE 西方面 良榮丸</p>	<p>九月二十六日 良榮丸</p>	<p>九月二十六日 良榮丸 指揮官</p>
<p>良榮丸</p>	<p>萬榮丸</p>	<p>IKE 西方面司令部 昭南地方運輸部 昭南駐在武官 10AB8 10C8</p>
<p>良榮丸 清水補給ニ時間ヲ要スルニ付出來 得レハ先ニ歸着セシメラレ度</p>	<p>空襲ニ對シ警戒ヲ嚴ニサレ度</p>	<p>二補給物件 日榮潤滑油十三噸生糧品二二〇人二七〇分 清水二〇噸(當地ニテ補給不可能) 良榮清水四〇〇噸 三行動豫定 日榮ハ二十八日一〇〇〇 良榮ハ三十日二〇〇 昭南着 日榮良榮交代スルモ最終船ノ昭南着ニ 變リナシ 雄鳳萬榮三十日昭南着ノ見込</p>
<p>信</p>	<p>電</p>	<p>信</p>
<p>0020</p>	<p>1935</p>	<p>電</p>

12

<p>九月二七日 日榮丸 指揮官</p>	<p>KE9 西方面 昭南地方運輸部 昭南在勤武官 一〇根一〇通</p>	<p>日榮丸機密第二七〇二三番電 輸送船ノ遣繰ニ依リ良榮丸モ二九日一 ニ〇昭南ニ歸着シ得ル見込清水ハ二箇 所ヨリ搭載スル様準備アリ度 本船昭南ニ歸港ス貴船モ出來ル丈ケ速カ ニ昭南ニ歸ル様努力ヲ乞フ</p>	<p>電</p>
<p>九月二七日 日榮丸</p>	<p>KE9 西方面 昭南地方海軍 運輸部長 109 GF 10AB2</p>	<p>日榮丸機密第二七二一〇番電 昭南ニ向ケハレムハン河口發二十八日三〇〇 着豫定良榮丸ハ日雄鳳萬榮ハ二日遅ル</p>	<p>旗手</p>
<p>九月二七日 昭南運輸 部長</p>	<p>日榮丸 良榮丸</p>	<p>昭南運輸機密第二七二〇〇五番電 日榮丸ハ高港西錨地 良榮丸ハ軍港ニ入港セヨ</p>	<p>0100</p>
<p>九月二七日 良榮丸</p>	<p>日榮丸 昭南運輸部</p>	<p>良榮丸機密第二七二二三番電 二十八日三〇〇發二十九日二〇〇昭南着豫 定ナリシガ輸送悪ク最後輸送船未ダ來 ラス打切リ出港差支ナキヤ</p>	<p>信 0330</p>

<p>昭南運輸部 九月二八日</p>	<p>良榮丸</p>	<p>昭南運輸機密第三二二五番電 貴機密第二七二三番電返 重油搭載、上軍港ニ歸投 着豫定返</p>
<p>良榮丸 九月二八日</p>	<p>昭南運輸部 日榮丸</p>	<p>良榮丸機密第三八一〇番電 二十八日夕刻最後、輸送船到着、見込 二十九日二〇時、搭載完了出港、豫定 三十日二〇時、軍港着、豫定 一搭載量約二五〇噸 二清水五〇噸手配ヲ乞フ</p>
		<p>二十八日一二〇噸積高九五〇噸未積載 量三〇〇噸(予定搭載量一二五〇噸) 清水補給五〇噸手配ヲ願フ</p>
		<p>電</p>
<p>信</p>	<p>1425</p>	<p>1300</p>

(終)

四参考

一意見

(一) 船團司令官又ハ運航指揮官ハ船團ノ戰務ヲ指揮統制スルヲ要ス

理由 現状ニ於テハ船團司令官又ハ運航指揮官ハ運航以外一切關係

ス亦出港予定ヲ示サザルタメ船團側ニ於テハ機關手入荷役補給

休養等不齊ニシテ長日時ヲ要スルノミナラズ安ハシテ之ヲ實施

シ得ズ空シク日時ヲ消費スルコト屢々アリ

(二) 今回トモ五七六船團ニ加入シ危險回轉ノ中央十五節ニテ航海シタル結果

極力之字運動ノ角度ヲ加減シ或ハ増減速ニテ危險回轉ヲ避ケタルモ際

列ヲ乱シ或ハ暗夜衝突落伍ノ虞アリタルノミナラズ頻繁ニ危險回轉ヲ前

後ニ往復シタルタメ機關各部緩ミ主機一汽筒ハ全然使用不可能ニ至レリ

予備品ト入換ヒタルモ不工合ニテ七汽筒ニテ航行中ナリ十三節半以ノ速

力ニテ航海セシメラル、ヲ可トセン

(終)

計	重油種別	至五百	自五百	十三日	至五百	自一日	日
		沖ク	トソム	佐	吳	在	所
一號重油	項	雄鳳丸	昭星丸	蓮需丸			受入軍需燃料
		重油	一號				種別
七二二	前月ヨリ、越高	四七四	五五三	一〇六六			同上教量(噸)
一一三三三	本月搭載額			三宅	吳海軍 夕月	三宅	滿珠
				重油	一號		種別
一一〇八五	所在合計			三九	二〇二	七〇	同上教量(噸)
				三九	五六二	四〇	同上所在合計(噸)
六〇一	本月拂額						記事
一一四八四	殘額						

燃料補給一覽表 (自九月三十日)

上記、外消耗品拂出シ
糸屑 一〇〇 噸
カストル油 一〇〇〇 立

四				三		二		一		日		五 作 戰 經 過 概 要			
吳										所 航 海 中 在 正 午 位 置					
二 五 一		快 晴		三 八 〇		快 晴		三 〇 〇		半 晴			十 午 時 前 日 沒 時	天 氣 象 風 向 風 速 氣 溫	
三 〇 〇		快 晴		三 八 〇		快 晴		三 七 〇		南 東 一 時					
屬 附 隊 艦 合 聯						務 任 般 一									
						務 任 別 特									
整 備 作 業		〇七二〇バ 〇八四〇右 終了		〇七二〇バ 〇八四〇右 終了		〇七二〇バ 〇八四〇右 終了		一四一〇吳 第四船渠開 門		一四二五同 右出渠		整 備 作 業		經 過 概 要	
		兵 四 名 乘 船		名 退 船		機 関 科 兵 曹 四 名 退 船		兵 六 名 乘 船				記 事		昭 和 十 九 年 九 月	

五	六	七	八	九	一〇
中 航		部 崎 灯 台		中 航	
北三三二 東三三一 〇七〇二		北三三二 東三三一 二七二五		北三三二 東三三一 〇七〇二	
快晴	小 雨	半曇	半曇	半曇	小 雨
南東	南	西北	西北	北北	東北
三五〇	三〇〇	三三〇	三三〇	三八一	三四五
半晴	雨	小 雨	小 雨	快晴	小 雨
三六〇	二七〇	二五〇	二五〇	二六〇	二七五
聯 合 艦 隊 附 屬					
整備作業		配置教育		出港	
〇七〇二 出港(吳)		二一九 防火訓練		〇五四五 出港	
〇八四〇 高角砲公試射		二五五 右同訓練止ム		一七五〇 警戒總員配置ニ就ク	
一七三五 假泊(部崎灯台)		二〇五 出港		二〇二四 警戒總員配置ニ就ク	
一九一七 投錨(伊萬里湾)					
便乗者 兵六〇名 一曹二名退船 一曹一名退船 未組 三曹二名退船					

一六	一五	一四	一三	一二	一一	
航海中			航海中			
北二七〇 東二六一	北二二一 東二八一	北二一五 東二九一	北二一五 東二九一	北二一五 東二九一	北二一五 東二九一	
南東五 三二八	西三 三一〇	北西五 三二〇	快晴 三五〇	南西五 三二〇	快晴 三二〇	
南東四 二五五	西快 三一〇	西半 三〇〇	南西四 二八〇	北東四 三七〇	快晴 二七五	
聯合艦隊附屬						
二三五六 緊急五度一斉回頭 風雨激化視界悪化セントタノ 列ハ乱レタリ		一四五 出港 二二二 台南地區空襲警報發令 一四五 機関故障列外 一五三 復旧元位置ニ就ク		一三五八 假泊(高雄北防波堤灯台) 一四一〇 三宅横付補給ス 一六一一 右終了放ス		二二〇 右前方飛行機發見 機銃員配置ニ就ク 〇九〇五 敵潜感知

三	三	〇	九	八	七
航 海 中					
北一〇四一三 東一〇四一三 一五四二	北五一一三 東一〇四一三	北八一一八 東一〇六四七	北九一〇五 東二〇三三一	北二一三三 東二〇一〇三	北三一一三 東二六五〇
曇 南南西二 二九、五	雨 南南西五 二六、〇	雨 北四 二六、〇	半晴 北西七 三〇、三	半曇 南南西八 三〇、〇	雨 西一四 二五、五
半曇 南三 二五、五	半晴 南西八 二九、〇	雨 南一〇 二七、〇	半晴 南西三 三〇、〇	曇 南西一〇 二五、五	雨 南南西三 二七、五
聯 合 艦 隊 附 屬					
一三四〇 一五四二 一七四〇	昭南海峽ニ入ル 投錨(昭南) 便乘者八〇名退船	〇九一九 一七一四	マニラ地區空襲警報發令 右解除	〇九〇三 〇九〇六 二一〇四	機関故障列外 故障復旧列ニ入ル 敵潛發見 三宅攻撃ヲ行フ
一五五〇 一七五〇	機関故障列外 故障復旧列ニ入ル	〇八〇〇	視界闊ク分離隊形整フ		
託送品陸揚ケ					

三	二四	二五	二六	二七	二八
航海航			航海航		
昭南		昭南		昭南	
〇七三一	北〇一ニ	東〇三五一	東〇三五一	北〇一ニ	東〇三五一
〇八五〇	〇七五〇	〇七五〇	〇八五〇	〇七五〇	〇七五〇
二五五	二五五	二五五	二五五	二五五	二五五
二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇
二七五	二七五	二七五	二七五	二七五	二七五
二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇
二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇
聯合艦隊附屬					
〇九一五 遙拝式舉行 一八〇〇 水船横付眞水搭載 糧食搭載 〇七三一 出港(昭南) 一四〇〇 見張教育施行 二五三三 假泊 〇七五〇 拔錨 〇八五〇 拔錨(パレバン湾沖) 一八四〇 昭星丸横付重油移載 一八四八 蓮丸横付重油移載 〇八〇五 蓮丸送油移載終了 一三〇〇 昭星丸送油移載終了 二〇〇八 雄鳳丸横付重油移載 〇八〇五 雄鳳丸送油移載終了 〇九二五 出港 一〇三〇 投錨(昭南西錨地)					
一五三〇 兵曹長 藤本一衛 乗組乗 船ス					

三〇	二九
南	昭
三四五 南西 半晴	三四五 東四 半曇
二八〇 南南西 雨	二八五 北東二 半晴
聯合艦隊附屬	
〇九一〇 水船横付清水搭載 一五〇〇 右終了糧食品搭載	
森山年生退船 任官自長	

(終)

行動燃料 (陸)		行動用油 (陸)		綿布ヲ含ム 行動用糸屑 (陸)	補給水 (陸)	平均吃水 (糧)	最近出渠年月日
主機	罐	外部油	内部油				
251.89	2744	3255	2445	130	133	591	昭和19年9月22日
24.58	137	230	155	15	13.6	420	
26.80	2.17	800	15	11	10.8	895	
303.27	31.00	4285	2615	156	157.4	635	

0467

發着地名	拔錨月日		投錨月日		速力	運轉時數 (日時分)	總航程 (哩)
	(月)	(日)	(月)	(日)			
吳	9	6					
昭南			9	22	10.81	13-4-29	3361
昭南	9	24					
バンカ島			9	25	15.56	0-16-12	249
バンカ島	9	27					
昭南			9	28	13.21	0-25-01	335
平均							
合計					13.19	14-21-42	3945

24

8968

主機械制式及數	期間	運轉時數 日-時-分	總行程 哩	主機械使用時數
川崎型 マーン = 衝程復動 ディーゼル機軸 一台	自 9-1 至 9-30	14-21-42	3945	

罐制式及數	期間	罐 項 番 號 目	一 號	二 號	三 號	罐 使用 時 數
船舶用 堅筒型 一基 二基	自 9-1 至 9-30	使用 時數	7-16-0	2-17-20	/	
		罐掃除 回数				
		罐水 取換數				

期 間		自 9-1		至 9-30	
蒸化器 蒸溜器			冷却機械		
制式及数	計動量 一 台 晝夜 (廻)	一 號	制式及数	一 號	二 號
ウエヤ 1型 1台	6	0	G S 2 台 メタル ノズル 付	0	30-0-0
發 電 機					
制式及数	一 號	二 號	三 號	非 常 用	
川崎 6VU ³ / ₈ 阪神 R2A型-1台	12-8-54	9-6-27	13-20-35	5-7-12	
空 氣 圧 縮 ポ ン プ					
制式及数	一 號		二 號		
三段圧縮型 二台	0-1-52		0-1-26		

補助機械使用時数

真満載水量 (吨)		月 日	造水額 (吨)			真水搭載額 (吨)		
罐用	飲雑用		罐用	飲雑用	計	罐用	飲雑用	計
一 四 〇 吨	飲	(月)(日) 9 3				22	58	80
		〃 5					50	50
		〃 19				30		30
		〃 20				16		16
		〃 23				80	96	176
	〃 29				31	185	216	
	雑	二						
		三						
		四						
		吨						
	計				179	389	568	

0471

月 日	搭載場所	燃料潤滑油搭載表				
		一號重油 (噸)	外部油 (立)	内部油 (立)	糸 及 屑	綿 布 (疋)
9-26	バカ島	721.0				80
計		721.0				80

燃料及消耗品消費額表

期 間		自 9 月 1 日 至 9 月 30 日			
行動用 燃 料 (噸)	平 常 用 燃 料 (噸)		潤 滑 油		綿 布 (疋)
運轉用	補 機 用	罐 用	内部油 (立)	外部油 (立)	
					布 56
303.27	7.98	31.00	242.5	107.20	糸 100

28

醫務衛生

(九月三十日)

一、衛生ニ関スル事項

天候ノ概要並ニ氣象ノ衛生的影響

本月中ニ於ケル正午氣象左ノ如シ

氣		温		湿度		氣		圧	
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高
三七.五	二四.五	三〇.四	一〇.〇	五九.〇	七五.七	五九.五	七四.七	七五.三	六

内地出發前下士官、兵、船員ノ一部補充交代アリ熱帶地ニ於ケル船内勤務經驗無キ者アルモ特ニ氣象ノ及ス影響ヲ認ズ

二月日及任務行動ノ概要

月	日	所	在	任	務
九	五	吳		入渠、真水糧食其他軍需品搭載	

九、	九、	九、	九、
三〇七	二二四	二二四	二二六
昭	パレムバン	昭南港入口	航
南	沖	口	毒
真水糧食搭載	重油搭載	假泊	中

前月ニ引續キ 聯合艦隊附屬給油船トシテ 其ノ作戰指揮
 下ニ行動セリ

三 出征中ニ於ケル飲料水其ノ他衛生ニ関係アル物品ノ搭載
 (イ) 飲料水

補給元	昭南港務部	数量(噸)	二八一噸	記事
-----	-------	-------	------	----

(ロ) 糧食

補給元	昭南軍需部	生糧品(噸)	五六九二、〇〇〇	貯糧品(噸)	六七八七、八四〇	記事
			三九一五、〇〇〇		八二五、〇〇〇	

ハ) 治療品

昭南海軍病院	呉海軍病院	補給元	備品	治療用	防疫用	試験用	治療用	防疫用	試験用	記事
		六		四			一			一三
		二		三			九			一五

四) 衛生状況

イ) 受診患者者状況

准士官以上 ナシ

下士官兵、六名(内外傷一平病五)

軍屬 一名(外被病一)

ロ) 送院及委託患者、状況

該當事項 ナシ

ハ) 傳染病發生状況

該當事項 ナシ

五) 被服入浴等、衛生事項

イ) 被服洗濯ハ一週約一回ノ割合ニ許可セラレ常ニ清潔ヲ保ケ得

(四) 夕
 寝具乾燥、航海中ヲ除キ毎週土曜日船内大掃除ノ際行ヒ
 常ニ日光消毒ヲ施行セリ
 (三) 入浴ハ一週約一回ノ割ニテ許可セラレコスコールヲ利用シ屢々
 水浴ヲ行ヘリ
 (二) 寄港地ノ衛生状況
 昭南港ムントク(バンカ島)
 昭南港ニハ赤痢患者發生シアリタリ
 ムントク村ニハ特記スベキコトナシ

(終)

別紙三會計經理 九月中

(一) 七月以降、経費出納、現状、本年六月二十八日官房第五九六

號ニ依リ記載ス

(二) 恤兵金及寄贈品ナシ

(三) 軍人以外、乗員(乙船員)昭和十七年達二一三號ニ依ル

諸給與

(イ) 支辨科目 || 臨時軍事費臨時軍事費船舶費

(ロ) 九月中状況

種別	支拂額	記	種別	支拂額	記
乙船員戰時手當	三三三七五〇	六五名	部内限判待食料	九六五五	一四名
部内限養待食料	五四一七	七名	計	三四八二二	

(四) 被服物品

受ナシ

消耗品

拂官職區別章外八件

貸與品

受下士官兵防暑衣甲外一件

(五) 糧食品

貸與下士官兵防暑衣甲外四件

貯糧品

受精米外三十件

拂精米外三十三件

生糧品

受骨付生獸肉外七件

拂骨付生獸肉外九件

(六) 艦營需品

受ナシ

消耗品

拂毛筆外三十件

貸與品

受硝子水瓶外二件

貸與硝子水瓶外二件

(七) 備品修理品

海軍會計法規類集第八回外一件

(心終)

0478

〔梯官職區別章外八件〕